

第4章

都市像の実現に向けて 関連

区部中心部について (1) 経済活力の向上のための拠点づくり
(「(仮)国際ビジネス交流ゾーン」における拠点の形成と持続的な更新/「(仮)国際ビジネス交流ゾーン」における都市環境の質的充実)(本編p.19～20)

- 区部中心部では、国際的なビジネス・交流機能を担い得る拠点が複数形成されており、国際的な金融ビジネスの拠点など、特色ある拠点の形成に向けた取組も始められている。
- 外国人対応機能を備えたサービスアパートメントの整備や、リノベーションやコンバージョンなどの取組事例が見られる。

代表的なビジネス・交流の拠点



出典：東京都資料

都市再生特別地域（港区 虎ノ門四丁目地区）

- 多言語対応の生活コンシェルジュ・クリニック・サービスアパートメント等の整備
- 日本の地域資源を活用した産業の育成・海外展開を支援する機能の導入 等



出典：第3回東京圏国家戦略特別区域会議 資料3（平成27年3月/東京都）から作成

印刷工場のリノベーション（港区）



出典：(株)リビタ プレスリリース

大手町地区から丸の内地区までのエリアにおける金融軸

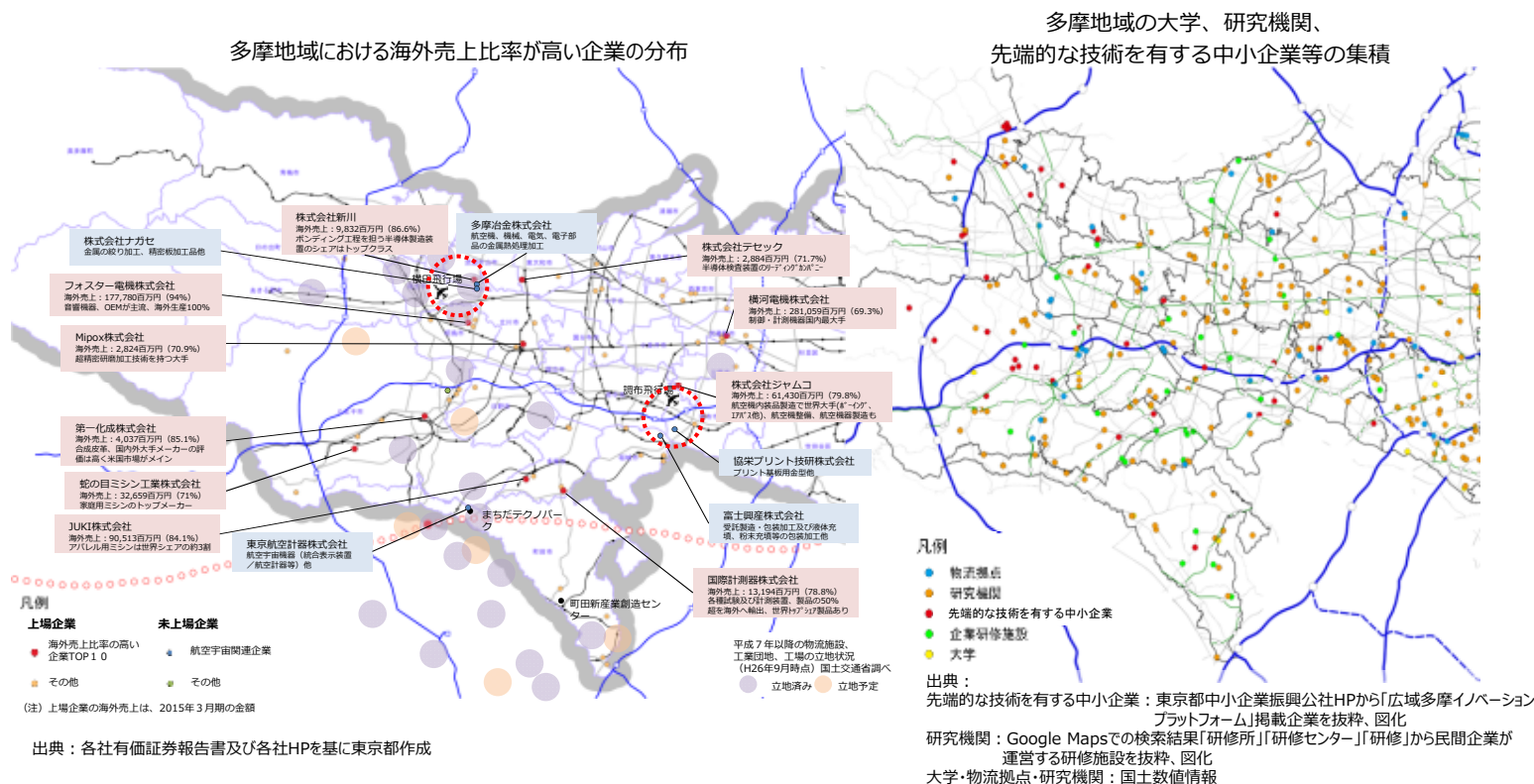


出典：「東京国際金融センター推進会議資料」（平成27年6月/東京都）

「(仮)多摩イノベーション交流ゾーン」について

(1) 経済活力の向上のための拠点づくり
(「(仮)多摩イノベーション交流ゾーン」における拠点の形成)(本編p.20)

- 多摩地域では、大学、研究機関、先端的な技術を有する企業やものづくり産業などが集積しており、交通ネットワークの形成と合わせて新たなビジネスチャンスの創出が期待される。



個性ある多様な拠点

(1) 経済活力の向上のための拠点づくり
(個性ある多様な拠点の創成)(本編p.20～21)

- 芸術・文化や歴史などを生かした都市づくりが、国内外で検討されている。
- 周辺区部などでも、若者文化や江戸以来の歴史など、地域の魅力や個性を生かした拠点形成の例が見られる。

豊島区国際アート・カルチャー都市構想



出典：「豊島区国際アート・カルチャー都市構想（解説編）」（平成27年6月/豊島区）

特徴的な芸術文化資源を持つ都市(台東区)



出典：「東京文化ビジョン」（平成27年3月/東京都）

地域の魅力や個性を生かした拠点形成の例



音楽を通じて絆を結ぶ「下北沢音楽祭」
出典：世田谷区

中野ブロードウェイ
出典：中野区

九品仏川緑道 出典：目黒区

出典：東京都資料

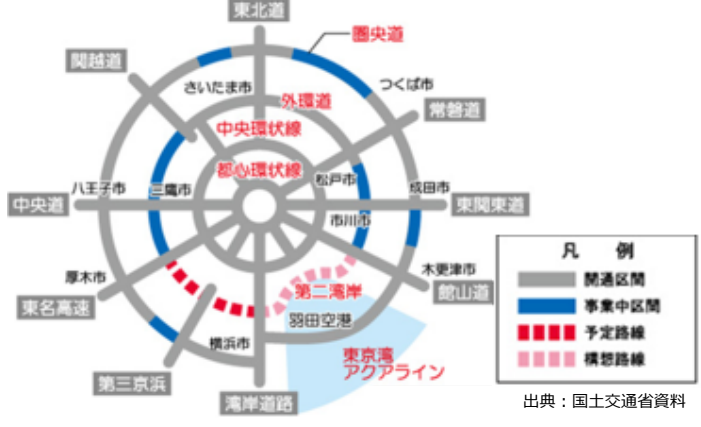
出典：第3回都市づくり調査特別委員会 資料7-1
(平成27年12月/東京都) から抜粋

高速道路ネットワークについて

(2) 人・モノ・情報の自由自在な交流の実現
(高密度で強靱な交通ネットワークを最大限活用)(本編p.21)

- ・環状道路の整備が進捗し、その整備効果によって渋滞損失時間が削減されつつある。
- ・首都高速道路などのインフラについては、その機能を維持しながら適切に更新を図ることが必要である。

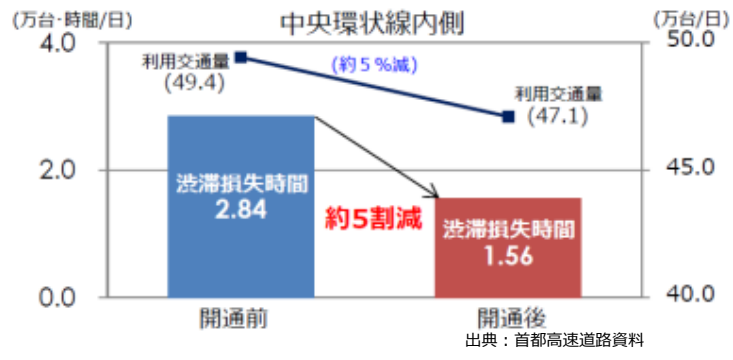
三環状道路の整備状況



首都高速道路の修繕箇所



中央環状線（湾岸線～3号渋谷線開通）の整備効果



骨格幹線道路について

(2) 人・モノ・情報の自由自在な交流の実現
(高密度で強靱な交通ネットワークを最大限活用)(本編p.21)

- ・東京では、強じんな道路ネットワークの形成に向け、骨格幹線道路や補助幹線道路の整備などの取組が進められている。
- ・地域の個性を踏まえ、歩行者回遊性を確保するなど、広範な利活用を考慮した新たな道路の使い方を示していくことも重要である。

骨格幹線道路の整備状況



車道から歩行者空間への転換
(ニューヨーク ブロードウェイ)



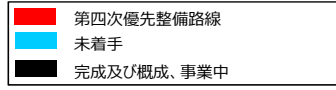
出典：ニューヨーク市資料

連続した緑豊かな歩行者空間への転換
(フランクフルト ツァイル通り)



出典：フランクフルト市資料

骨格幹線道路網の完成率
平成26年度末：69% ⇒ 88%に向上
(現在事業中の路線に加え、第四次優先整備路線が完成した場合)



平成28年4月現在
出典：東京都資料

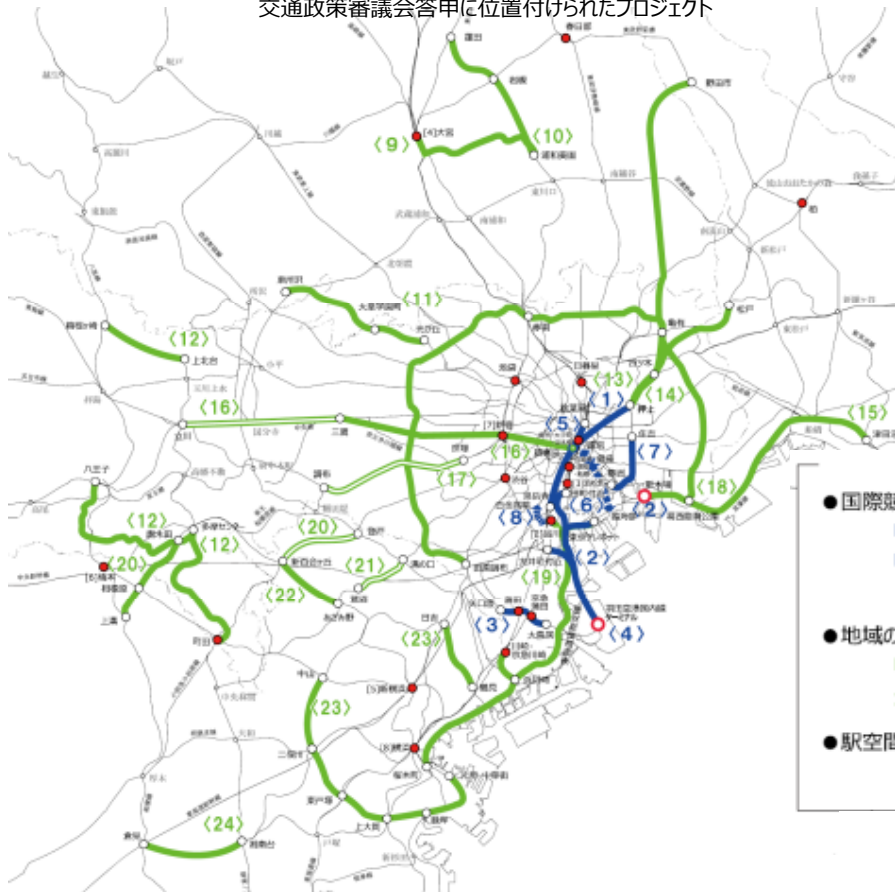


調布保谷線（調布～三鷹） 環状2号線（新橋～虎ノ門）

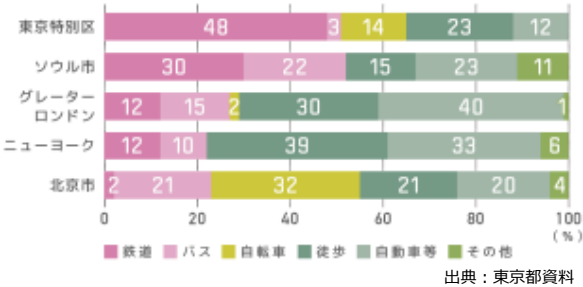
鉄道ネットワークの充実等に向けた指針

- 交通政策審議会答申第198号(平成28年4月)において、国際競争力の強化や地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトなどが示された。
- 東京は、世界有数の鉄道ネットワークが構築されており、海外の他都市と比べ、鉄道の交通手段分担率が高いことが特徴である。

交通政策審議会答申に位置付けられたプロジェクト



都市別の交通手段分担率



出典：交通政策審議会資料(平成28年4月/国土交通省)

交通結節点の周辺地域の機能強化

- 地下鉄3路線以上が連絡する拠点性の高い駅においても、駅前空間が充実しているとは言えない状況である。
- 海外を中心に、BRTやシェアサイクルなど、多様な交通モードの導入が進められている事例もある。

地下鉄3路線以上が連絡する駅



出典：第4回都市づくり調査特別委員会 資料7
(平成28年1月/東京都)

シェアサイクルのイメージ



出典：日本交通計画協会資料

BRT / シェアサイクル (バルセロナ)



出典：東京都資料

舟運ネットワークの形成と水辺に顔を向けたまちづくり

- 舟運ネットワークの充実に向けた取組に合わせ、水辺に顔を向けた親水型のまちづくりを進めていくことが重要である。

隅田川を軸とした、快適で人々が楽しめる水辺空間の創出



出典：「東京都長期ビジョン」（平成26年12月/東京都）

水辺に顔を向けたまちづくりの事例

ニューハウン運河(コペンハーゲン)



サン・アントニオ(アメリカ)



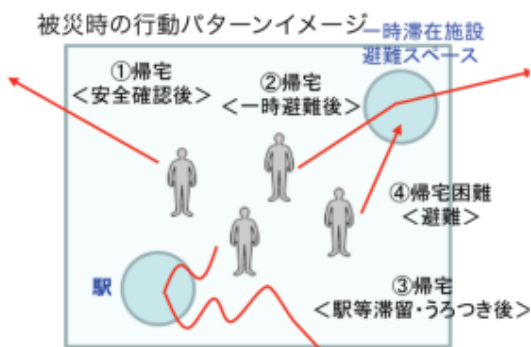
出典：第1回水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会 資料
(公益財団法人リバーフロント研究所/平成25年)

情報都市空間の整備

(2) 人・モノ・情報の自由自在な交流の実現
(IoT技術を活用した情報都市空間の整備)(本編p.23)

- IoT技術と様々なネットワーク情報の組合せにより、誰もが自由にまち歩きや東京の観光を楽しめる環境づくり、迅速な防災情報の提供や遠隔医療システムの構築に向けた検討が進められている。

ビッグデータの活用可能性（災害時の避難行動の分析）



出典：国土交通省HP

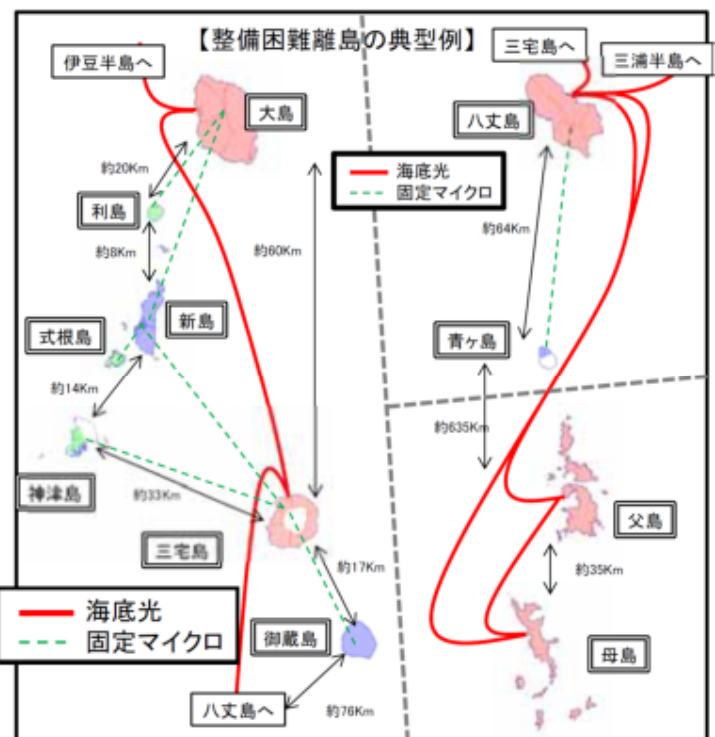
遠隔医療予防相談システムの概要



出典：総務省HP

参-16

ブロードバンド基盤の現況（平成26年3月末時点）



出典：「2020年代に向けた情報通信政策の在り方 報告書（案）」
参考資料84（情報通信審議会 2020-ICT基盤政策特別部会 基本政策委員会
（第16回）資料16-1）
（平成26年10月/総務省）